vol.72
2026年
10月

東京の生協のまちづくり活動トピックス

今回より紙面をリニューアル！文字や画像サイズを大きくして見やすくしました。
これからも活動のヒントになる記事や企画を紹介していきます。

自然派くらぶ生協　組合員の温かい気持ちをフードバンクへ

自然派くらぶ生協では、2018年からSDGsの取り組みのひとつとして、フードドライブに取り組んでいます。9月に実施したところ、組合員から多くの食品が寄せられ、中には「注文した商品をそのまま寄付します」という温かいお申し出もありました。

集まった食品は、ボランティア活動を行っている組合員組織「虹の会」が賞味期限を確認し、種類ごとに仕分けています。これらは、地域のフードバンクや子ども食堂へと寄贈しています。9月15日に寄贈した「フードバンク八王子えがお」からは、「生活に困窮している人たちはフードバンクの食品が命綱になっていることもある。寄贈していただき、とても助かっています」と大変喜ばれました。

「フードバンク八王子えがお」の本條さん（中央）と三浦さん（左）
自然派くらぶ生協の田野倉さん（右）

生協のまちづくり☆八王子　市民と企業をむすび、高齢者の元気を創る

杉本朱美さん

10月15日（木）、定例会のミニ学習として、八王子市の「はちおうじ人生100年サポート企業」について学びました。この取り組みは高齢者への重層的な支援を目指し、介護予防や生活支援サービスや、働く場としての「就労的活動」を提供できる企業が「100サポ企業」として登録し、高齢者のやりがいや健康を促進する制度です。前半は八王子市福祉部高齢者福祉課主任の中田彩子さんから制度の概要と登録方法を学び、後半の質疑応答では第一層生活支援コーディネーターの杉本朱美さんから、企業が提供する「就労的活動」の事例と利用者の様子を知ることができました。参加者からは「登録できる事業や活動が見つかったら相談したい」と感想があり、取り組みの理解につながりました。

中田彩子主任

杉並区まちづくり　生協間の協力を大切に。情報キャッチはしっかりと！

杉並区まちづくり「福祉のまちづくり・杉並」は、今年度の活動テーマの中から防災まち歩きや防災関連施設の見学を通した防災減災、地域の特徴を知る取り組みを進めています。定例会活動は2カ月に1回程度開催し、所属生協から様々な相談や地域でのささえあいについて情報交換を和気あいあいと行っています。生協間のつながりのために、お互いの活動について理解を深め、各生協でのまちづくり活動に生かしています。12月には杉並区堀之内2丁目にある環状七号線地下の巨大トンネル（河川洪水軽減のための地下調節池）の見学を予定しています。

他生協の新しい企画は自生協の活動ヒント

東京都生協連　まちづくり講座「居心地のいいチームの作り方・任せる力の高め方」

11月20日（金）13:30～16:00　東京都生協連会館にて開催　～コミュニティマネジメント入門～

「仲間を増やしたい」「今いる仲間が育ち、安心して任せ合える団体づくりを考えたい」
「明日からすぐに実践できることを知りたい」そんな方におすすめの内容です。　詳細やお申し込みはコチラ ▶

◀ まちづくり活動のHPはこちら

編集発行：東京都生活協同組合連合会